



1 第8回通常総会の開催

第8回通常総会が、令和元年5月21日午後3時30分から東海大学校友会館において開催された。

安元副会長が総会議長を務めて審議が行われ、平成30年度（平成30年4月1日～平成31年3月31日）の事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算について承認された。

また、公益目的支出計画実施報告書の総会への報告を行った。

つづいて、役員を選任について審議がおこなわれ、5月に行われた正会員会社の記名連記式投票による選挙の結果から第1回理事会で選出された正会員14名と特別会員から推薦された7名、監事2名が全会一致で承認された。

会長、副会長、専務理事の選任

総会終了後開催した理事会において、会長、副会長、専務理事の選任について協議した結



議長の安元副会長

果、会長には、古川実氏（日立造船㈱相談役）、また、副会長には安元豊氏（日立造船㈱）、澁谷榮一氏（JFEエンジニアリング㈱）、石倭行人氏（日鉄エンジニアリング㈱）、専務理事には高木宏明氏（（一社）日本環境衛生施設工業会）がそれぞれ選任された。

会長表彰

工業会の事業活動に永年貢献された功績により、次の5氏が会長表彰を受け、受賞者を代表して高草木氏（日鉄エンジニアリング㈱）から謝辞があった。

勝井 基明 氏（㈱プランテック）

神戸 宏 氏（㈱西原環境）

高草木 誠 氏（日鉄エンジニアリング㈱）

保延 和義 氏（JFEエンジニアリング㈱）

山田 三男 氏（㈱協和エクシオ）



第8回通常総会であいさつする古川会長



会長表彰

（左より山田氏、保延氏、高草木氏、神戸氏、勝井氏）

2 理事会の開催

次の各日程及び議題により、理事会が開催され審議が行われた。

◇令和元年5月8日(第1回)

- ・会長表彰について
- ・正会員の理事、特別会員の理事・監事への推薦について
- ・第8回通常総会議案について
- ・公益目的支出計画実施報告書等について

◇令和元年5月21日(第2回)

- ・会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定について
- ・議長の代理順位について

◇令和元年7月18日(第3回)

- ・事業報告(職務の執行状況報告)について
- ・正会員の入会について

◇令和2年3月5日(第4回)

- ・令和元年度決算見込みについて
- ・令和2年度暫定予算案について
- ・執行状況報告について

3 環境大臣表彰

廃棄物等の発生抑制、循環的な利用及び適正処分又は浄化槽によるし尿及び、雑排水の適正処理に関する研究開発、技術開発において、学術的、実用的に優れた業績を上げ、その成果によって廃棄物処理事業又は浄化槽関係事業の発展に対する顕著な功績による環境大臣表彰(廃棄物・浄化槽研究開発功労者)が、小杉茂氏(荏原環境プラント(株))と下田栖嗣氏(エスエヌ環境テクノロジー(株))に、また、一般廃棄物処理に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績による環境大臣表彰(一般廃棄物関係事業功労者)が、石橋直人氏(株川崎技研)と小林英正氏(日立造船(株))に授与されることになり、令和元年10月29日に熊本市熊本城ホールで開催された第63回「生活と環境全国大会」の式場で表彰状が授与された。

後日、表彰を受けた4氏に対し、工業会から記念品が贈呈された。



環境大臣表彰受賞者
(左から小杉氏、下田氏、小林氏、石橋氏)

4 建設運営一体事業研究会セミナーの開催

令和2年2月28日に法政大学社会学部教授田中 充氏に「気候変動リスクへの適応と廃棄物事業」と題してご講演いただき、会員会社から約20名が聴講した。

5 施設見学会の開催

- ・企画運営委員会

①令和元年7月10日に、愛媛県今治市にある「今治市クリーンセンター バリクリーン」に見学会を行い、14名の参加があった。



施設内を見学
(今治市クリーンセンター バリクリーン)

②令和元年11月28日に、石川県小松市にある小松市クリーンセンター「エコロジーパークこまつ」に見学会を行い、17名の参加があった。



エコロジープークこまつ

・建設運営一体事業研究会

令和元年7月25日に、青森市にある「青森市清掃工場」に見学会を行い、20名の参加があった。

説明を受ける見学者
(青森市清掃工場)

・技術委員会施設見学会

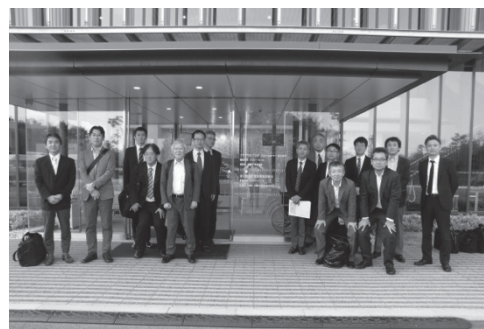
①令和元年6月14日に、北海道苫小牧市にある「Jファーム苫小牧」と登別市にある「クリンクルセンター」に見学会を行い、17名の参加があった。



Jファーム苫小牧

②令和元年11月1日に岡山県津山市にある

「津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ」に見学会を行い、16名の参加があった。

津山圏域クリーンセンター
リサイクルプラザ

6 海外環境事情調査

令和2年2月9日から2月16日まで、リスボン（ポルトガル）、マドリッド、マヨルカ島（スペイン）における廃棄物処理施設について、企画運営委員会委員長の高草木誠氏（日鉄エンジニアリング㈱）を団長に、企画運営委員会等の有志11名で廃棄物処理の事業形態を主眼に置いた調査を実施した。

7 関係団体との共催

・令和元年6月21日に、（一社）環境衛生施設維持管理業協会（JEMA）と工業会の技術委員により情報・意見交換等の検討会を開催し相互理解を深めた。

8 関係団体等の各種委員会等への参画

1) 環境省

・中央環境審議会 循環型社会部会ヒアリング

2) (公社)全国都市清掃会議

・第41回全国都市清掃研究・事例発表会実行委員会

・「汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領」の改定（2020版）の作成・査読委員会

3) (一財)日本環境衛生センター

- ・「廃棄物処理施設技術管理者講習テキスト」
査読委員会
 - ・環境大臣表彰中央推薦委員会
 - ・令和元年度中小廃棄物処理施設における廃棄物エネルギー回収方策等に係わる検討調査検討会
 - ・令和元年度廃棄物処理システムにおける低炭素・省CO2対策普及促進方策検討調査検討会
 - ・令和元年度廃棄物・リサイクル分野における気候変動影響の分析及び適応策定業務に係る検討会
 - ・令和元年度一般廃棄物処理施設管理技術講習会実施業務検討委員会
 - 4) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター
 - ・テキスト作成委員会
 - 5) エックス都市研究所
 - ・令和元年度地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備促進検討委員会
 - ・令和元年度地域に多面的価値を創出する廃棄物処理施設整備促進検討委員会
- 9 関係団体等の各種講習会等への講師派遣**
- 1) (一財)本環境衛生センター
(講師派遣延べ59名)
 - ・2019年度廃棄物処理施設技術管理者講習会 (講師派遣延べ56名)
 - ①中間処理施設コース (2名)
 - ②産業廃棄物焼却施設コース (14名)
 - ③破碎・リサイクル施設コース (26名)
 - ④有機性廃棄物資源化施設コース (5名)
 - ⑤ごみ処理施設コース (9名)
 - ・第63回生活と環境全国大会
(講師派遣1名)
 - (一社)日本環境衛生センター(西日本支局)
 - ・令和元年度技術管理者等スキルアップ研修会及び廃棄物処理施設技術管理者等研修会
(講師派遣延べ2名)
 - ①ごみ処理部門 (1名)
 - ②し尿・汚泥再生処理部門 (1名)
 - 2) (公財)日本産業廃棄物処理振興センター
 - ・産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の収集・運搬/処分課程(更新講習会) (4名)
 - 3) 中央労働災害防止協会
(講師派遣延べ15名)
 - ・ダイオキシン類作業指揮者養成研修会 (2名)
 - ・ダイオキシン類作業従事者特別教育インストラクターコース」(大阪分) (3名)
 - 4) (一社)環境衛生施設維持管理業協会
 - ・第32回事業所管理者研修会
(講師派遣2名)
 - 5) (株)廃棄物工学研究所 (講師派遣延べ3名)
 - ・2019年度春季度特別企画シンポジウム「低炭素社会の実現に向けて～再エネ主力電源化における廃棄物発電」 (講師派遣1名)
 - ・2019年度秋季特別企画シンポジウム「低炭素社会の実現に向けて～令和・新時代の廃棄物処理」 (講師派遣2名)
 - 6) 山形県廃棄物処理施設技術管理者会
 - ・令和元年度山形県廃棄物処理施設技術管理者研修会 (講師派遣1名)
- 10 海外調査派遣業務**
- (公財)地球環境戦略研究機関
 - ・令和元年度マレーシア・フィリピンの廃棄物発電導入支援業務に係る「廃棄物管理に関するワークショップ(マレーシア)」へ参加 (調査業務派遣1名)